

第2章 2. 認知症に関する原因疾患と病態・治療  
 テキストP38 「メマンチンの特徴」で、代謝を現行の「肝臓」から「非CYP」に修正してください。  
 研修配信時の本スライドは、「平成26年度認知症サポート医養成研修」のスライドを使用しておりましたが、「平成28年度かかりつけ医のための認知症対応力向上研修」において、代謝の箇所が更新されております。  
 メマンチンは薬物代謝酵素により代謝の影響を受けにくい腎排泄型の非CYPに更新されていますので、テキストの修正をお願いいたします。

## メマンチンの特徴

	メマンチン
作用機序	グルタミン酸受容体の拮抗薬
病期	中等度～高度
一日用量	20mg 5mg から 毎週漸増
用法	1
代謝	肝臓 → 非CYP
推奨度	グレードA (行うよう強く勧められる)